

鸕鷀樓に登る（王之渙）

白日依山尽  
黄河入海流  
欲窮千里目  
更上一層樓

白日依自盡　黄河人海流  
欲窮千里目　更上一層樓

解説　黄河を目の下に望む鸕鷀樓に上つて、雄大な景色をうたつた詩。

語釈　※鸕鷀樓　山内省永濟県の西南の城郭に立つ三層樓。鸕鷀（こうのとり）がここに巣を作つたことから名づけられたと。※白日　＝太陽。※依山尽　山なみに沿いながら沈んでゆく。※黄河　長江と並ぶ中国の二大河川の一。※人海流　この樓から海は見えないが、黄河の勢いが豊かに流れるさまのことを形容した。※千里目　千里四方を見わたす眺望。

※一層樓　樓の一階上。層は階のこと。

通釈　この鸕鷀樓から眺めると、いましも日は赤々と、黒い山なみの向こうに沈み、目の下には豊かに流れる黄河が、海に注ぐ勢いで流れている。この雄大な眺望

をさらに遠く千里の向こうまでもきわめようと、もう一階上に上つた。

千里の　目を　窮めんと　欲し  
更に　上る　一層の　樓